

令和元年度の主な行事

酪農試公開デー

8月7日（水）に第15回目の公開デーを開催しました。420名の方々が来場されました。イベントでは、牛と触れ合う企画（哺乳・搾乳体験）、カッテージチーズ作り、クレヨンを作る科学実験などに加え、迷路やぬりえコーナー等、どの企画も大盛況でした。また、バスツアーで搾乳、えさ給与等の牛舎内作業や試験のためのデータ収集と酪農家の仕事との関わりについて紹介し理解を深めていただきました。講堂では、地域の特産品や地元の学生さんたちが作った作品の販売もしていただき、地域の教育や産業の実際を垣間見る機会も持つていただきました。今年も「さけます・内水面水産試験場道東支場」と共催で行い、魚の手づかみや、「キャビア」で知られるチョウザメとふれあうコーナーも設置され、子供たちは大喜びでした。

第32回酪農試験場フォーラム

令和元年11月14日に酪農試において、「酪農地帯の農業労働力確保における今日的な視点」というテーマで、第32回酪農試験場フォーラムを開催いたしました。道庁農政部農業経営課の大塚主幹から「農業の雇用人材の確保と農福連携について」、酪農試験場地域技術グループの濱村研究主任から「TMRセンターにおける新たな人材確保の取り組みについて」、(有)仁成ファームの佐藤常務取締役から「仁成ファームにおける農福連携の取り組みについて」という演題で話題提供いただき、これまでとは異なる視点での農業従事者確保の可能性について議論を深めました。



酪農試公開デー（哺乳体験）



酪農試公開デー（チョウザメとふれあうコーナー）



第32回酪農試験場フォーラム